

原稿校了後の前兆変化について

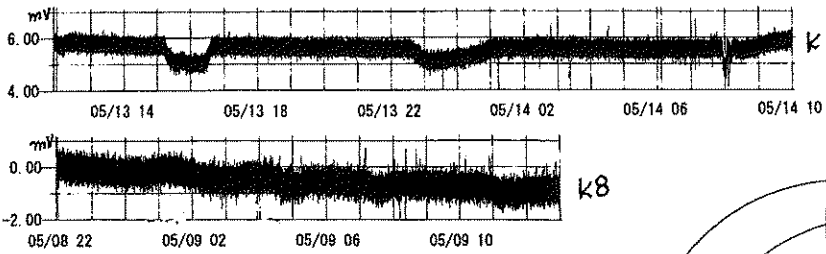
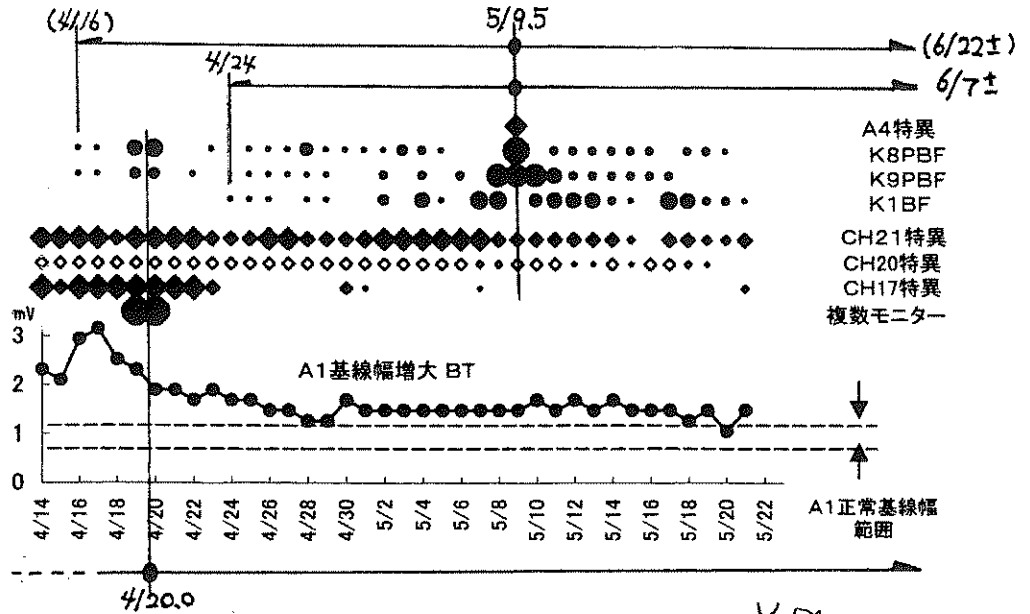
八ヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254  
Astronomical Observatory: SINCE 1985 Earthquake Forecast Observation & Research: SINCE 1995

No.1778 長期継続特殊前兆 地殻大型地震の可能性前兆続報 現況報告

No.1778長期継続特殊前兆の続報現況報告です。

5/19.7(5/20)極大に対して、前の前兆ステージ(第14ステージ)の極大が初現である可能性を考えますと、今月05月中旬過ぎに前兆終息の可能性が示唆されます。しかし、K9-PBF, K8-PBF, A4特異等による、5/9.5 極大が観測されたため、前兆終息は、より先となることとなります。

下に5/9出現のK8-PBF 基線に対し下側局=安芸千代田100w局BF認識と、関連のK1-BF(基線に対し上側局=新居浜100w局(西脇100w)BF 波形を掲載します。



この5/9.5極大のために4/20極大に対する前兆終息が識別できなくなりました。従って現前兆群の示す時期を推定するには、5/9.5 極大に対する初現が認識できれば、 $T_{\text{fap}}:T_{\text{map}}=20:13$  経験則を使用して求めることができます。

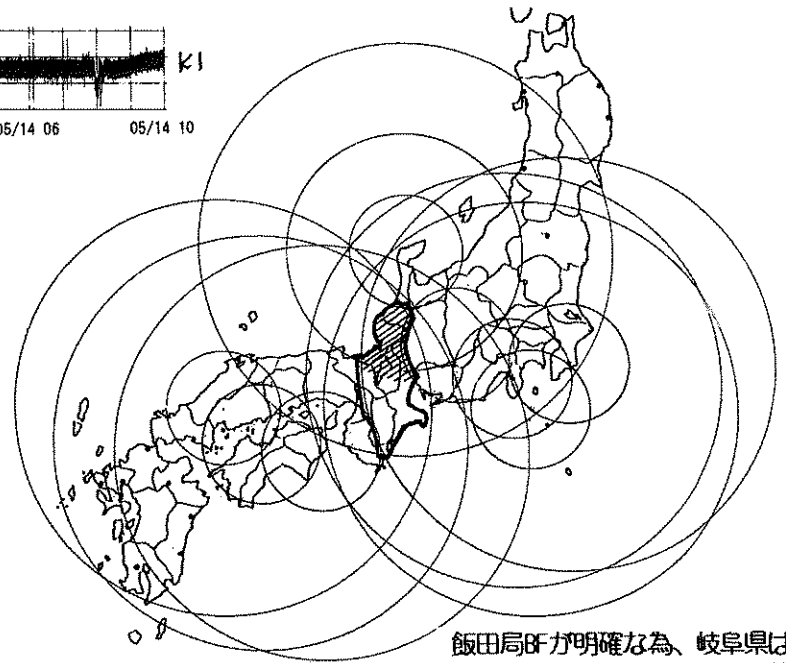
高知観測点のK8とK9のBF前兆は、4/19, 20に明確出現しており、4/20極大関係が判ります。従って、4/19, 20前後のK8, K9の微弱BFは、4/20極大関係のBFの可能性がります。これに対し高知観測点のK1観測装置のBF前兆は、4/24から弱いBFが見えます。この4/24を初現とし、5/9.5 極大と仮定しますと、06月07日±が示されることとなります。これが可能性のひとつです。但し、K8, K9のBFは4/16から微弱に出現しており、4/15以前は識別困難です。このことから、(4/20極大に関して4/16からの微弱BFが出現している可能性もありますが)4/16を初現とする可能性も完全否定はできません。この場合は上図に( )で示しましたが、06月22日±が示されることとなります。

06月07日±の場合 — 前兆終息予測=05月31日±

06月22日±の場合 — 前兆終息予測=06月11日±

いずれにしても前兆は減衰傾向です。実際の前兆終息を観測して現前兆群の示す日を求めたいと考えます。続報で報告予定。

※ 5/9.5極大に関する報告は、順次、FAX とE-mailによる配信の実験観測情報では既に報告済でした。本HPでは更新が遅れましたこと、深くお詫び申し上げます。



◆推定領域: 上図太線領域内(斜線領域=参考推定領域)

◆推定規模: M7.8 ± 0.5

◆推定時期: 実際の前兆終息を観測し計算予定  
現状可能性が考えられる時期 6/7 ± 3 (6/22 ±)

◇推定地震種: 震源の深さ30km以下の浅い陸域地殻地震

◇推定発生時刻: 午前09時±1 (又は午後06時±3)